

2024年3月期第3四半期 決算説明会

2024年1月26日



執行役常務兼CFO 塩嶋 慶一郎

執行役常務兼CMO 松井 英彦

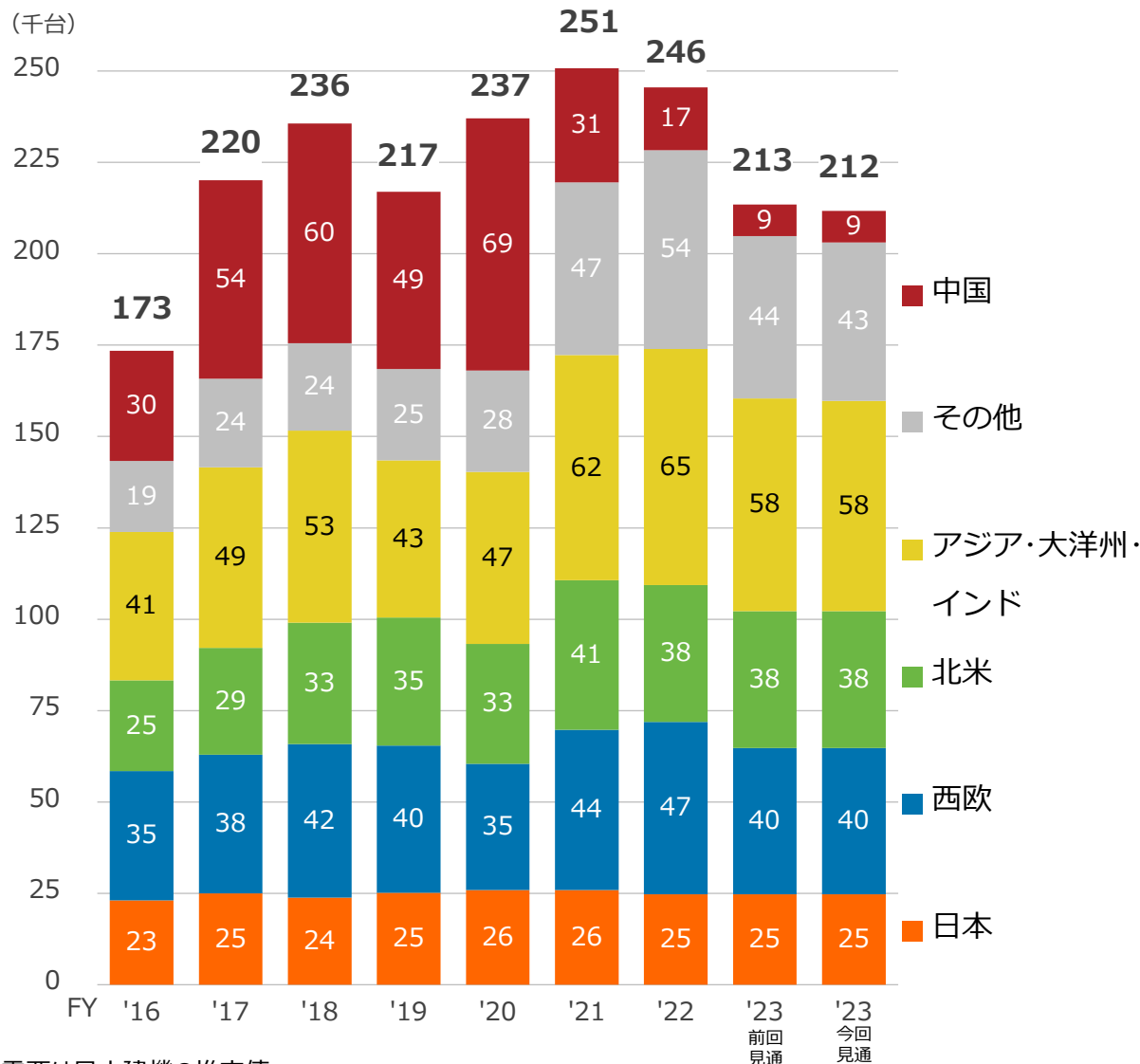
1. 地域別市場環境と見通しについて

執行役常務兼CMO

松井 英彦

新興国比率：23年度 52%（前年比△4%）

※新興国：中国、アジア・大洋州・インド、その他



地域別需要対前年増減

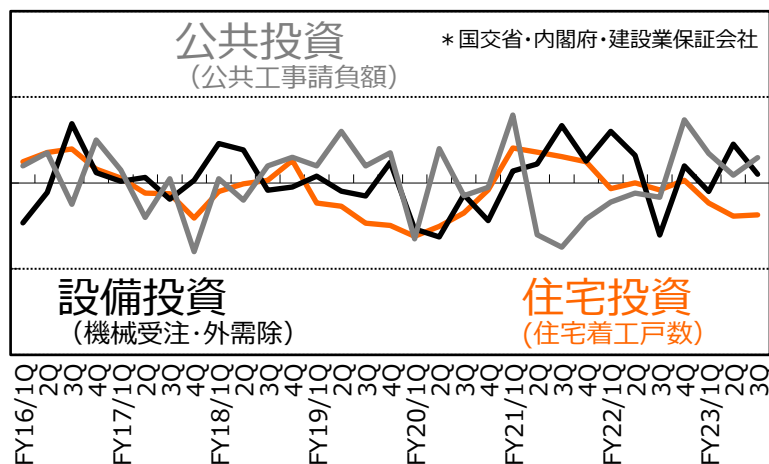
※当社推定 中国国産メーカ含まず
※複写・転用はご遠慮下さい

	'22	'23
合計	-2%	-14%
中国	-45%	-50%
ロシア・CIS・東欧	+2%	-20%
アフリカ	-9%	-17%
中東	+65%	-2%
中南米	+18%	-33%
その他	+15%	-20%
アジア	-2%	-18%
インド	+14%	±0%
オセアニア	+9%	-12%
アジア・大洋州・インド	+5%	-11%
北米	-8%	±0%
西欧	+7%	-15%
日本	-4%	±0%

- 住宅投資は減少、設備投資は微増、公共投資は増加。
- 油圧需要は微増：前年同期比 油圧 +1%、ミニ △1%、WL +14%

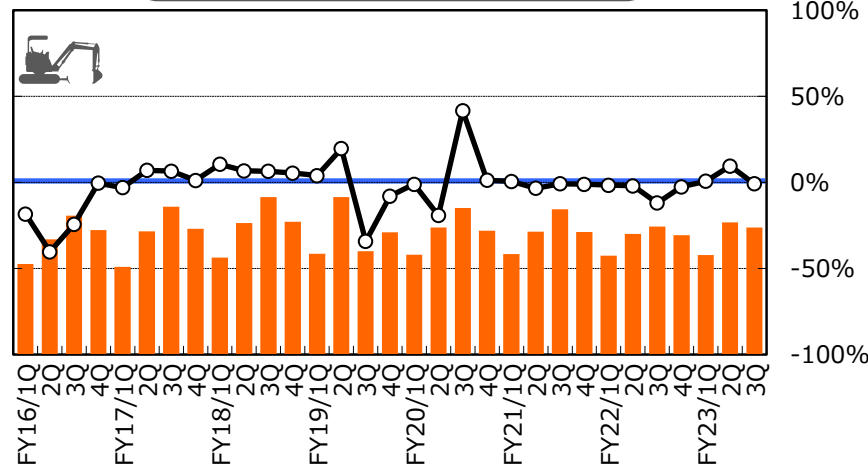
住宅・設備・公共投資

(前年同期比) (千台)



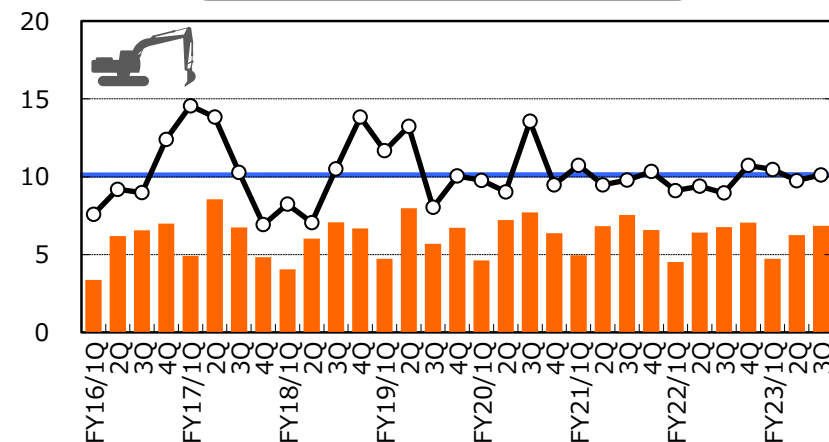
ミニショベル需要

(前年同期比)



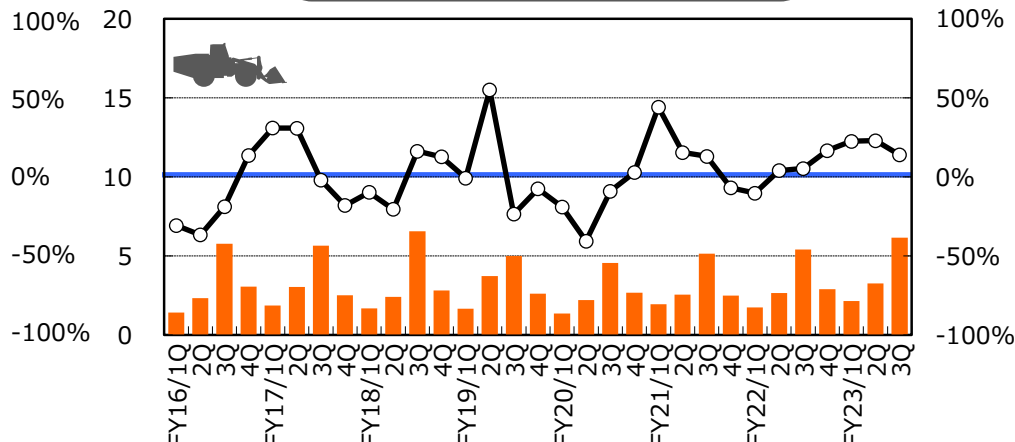
油圧ショベル需要

(千台) (前年同期比) (千台)



ホイールローダ需要

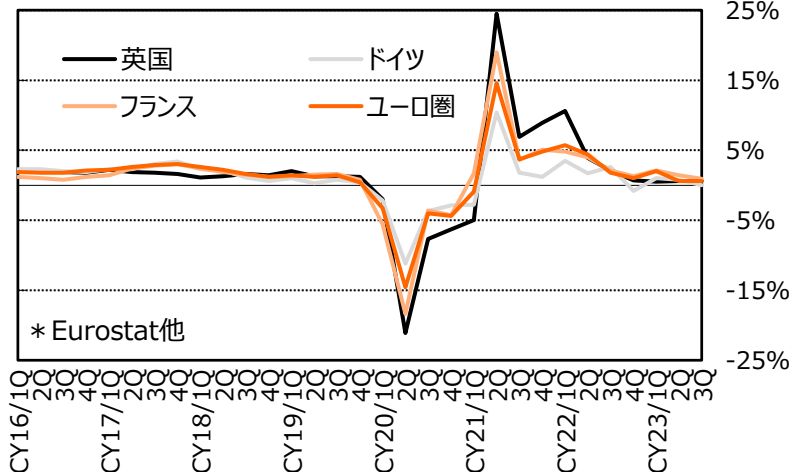
(前年同期比)



- 23年3QのGDPは引き続き低成長
- 油圧需要は大幅減：前年同期比 油圧 $\Delta 31\%$ 、ミニ $\Delta 30\%$ 、WL $\Delta 19\%$

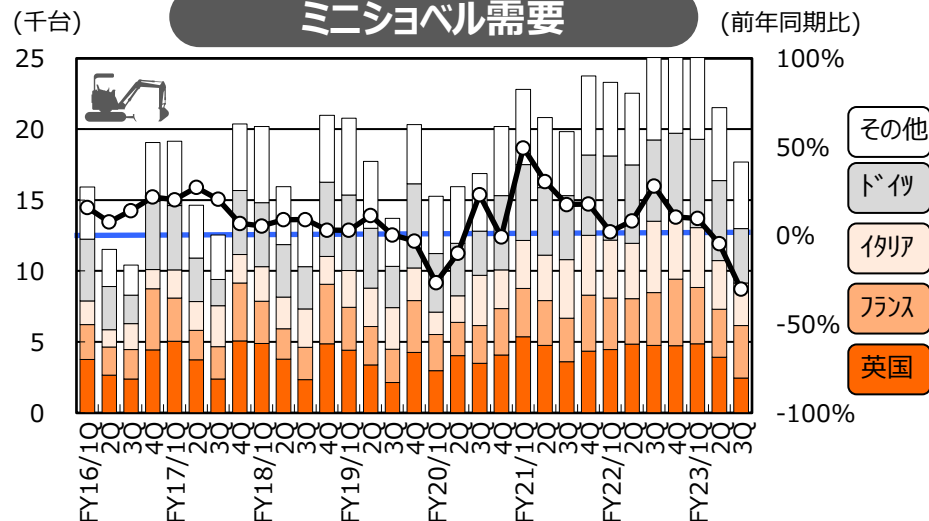
主要国GDP

(前年同期比)



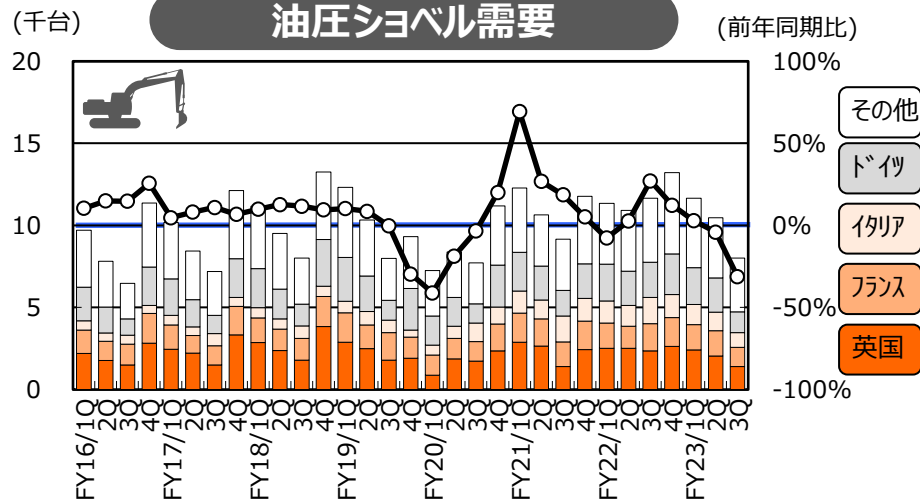
ミニショベル需要

(前年同期比)



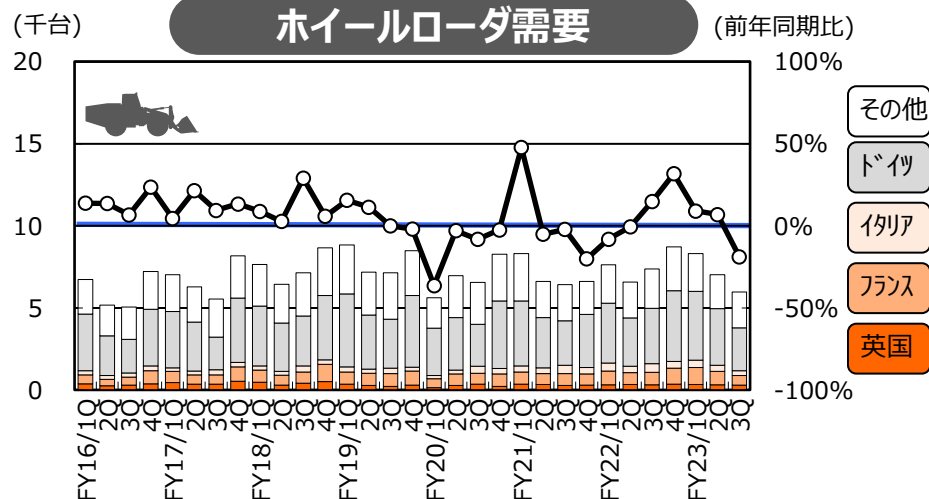
油圧ショベル需要

(前年同期比)



ホイールローダ需要

(前年同期比)

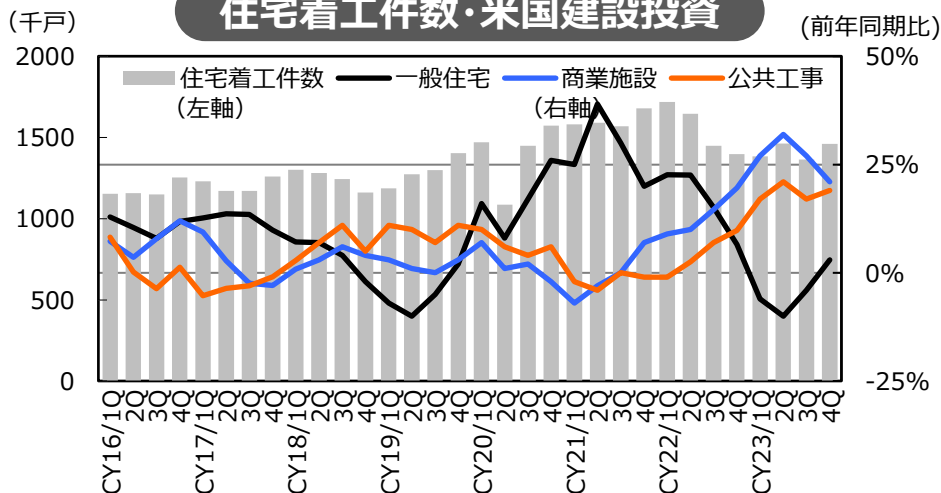


* 需要は日立建機の推定値

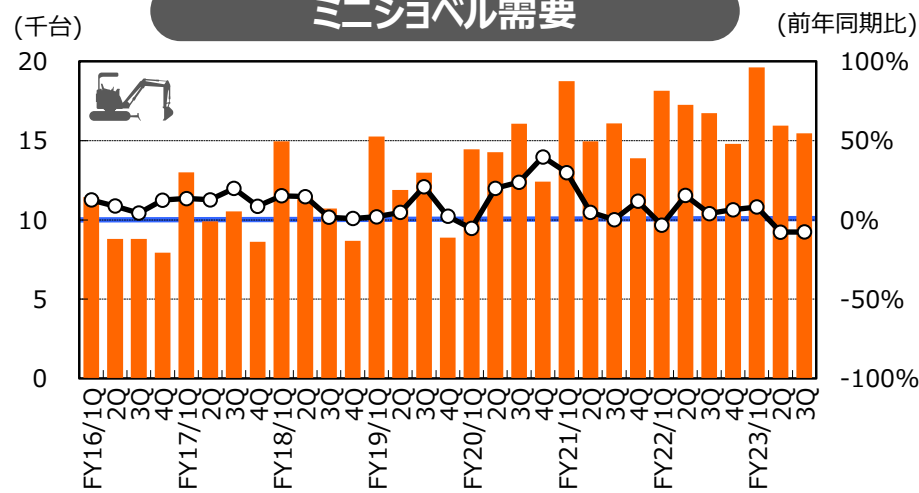
© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2024. All rights reserved.

- 一般住宅および住宅着工件数は増加。商業施設と公共工事は大幅増。
- 油圧需要は減少：前年同期比 油圧 $\Delta 4\%$ 、ミニ $\Delta 8\%$ 、WL $\Delta 1\%$

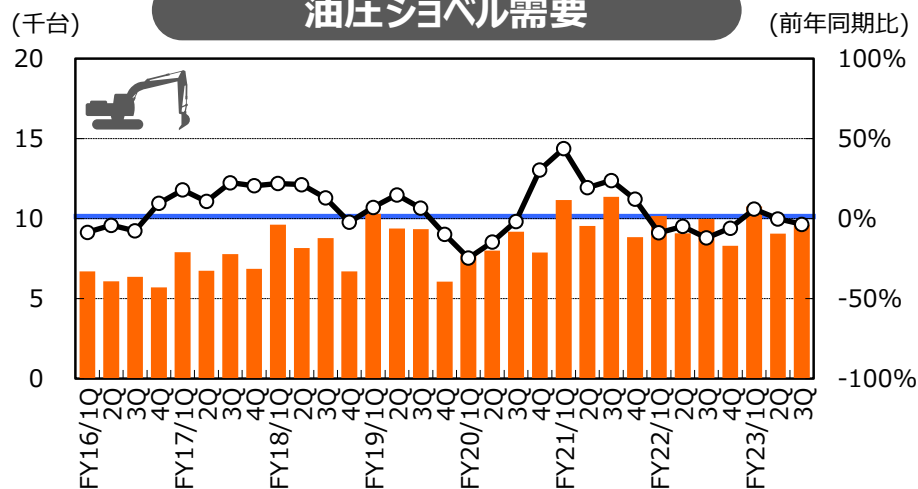
住宅着工件数・米国建設投資



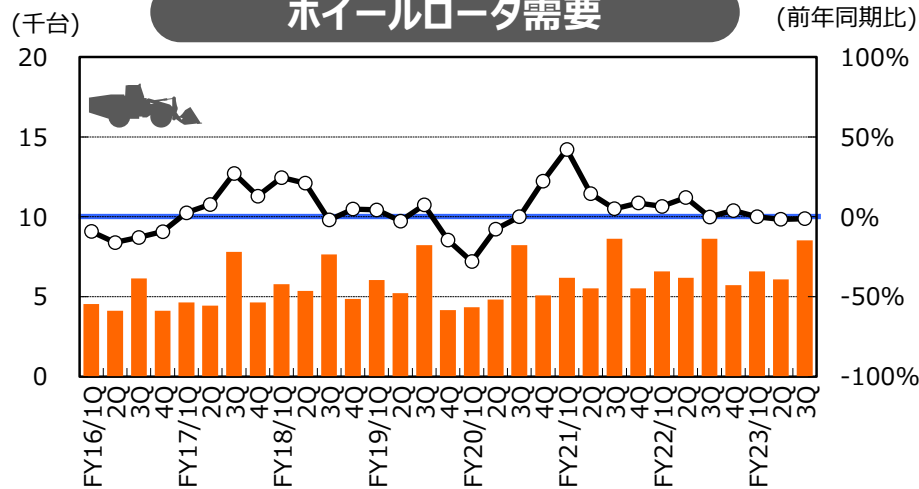
ミニショベル需要



油圧ショベル需要



ホイールローダ需要

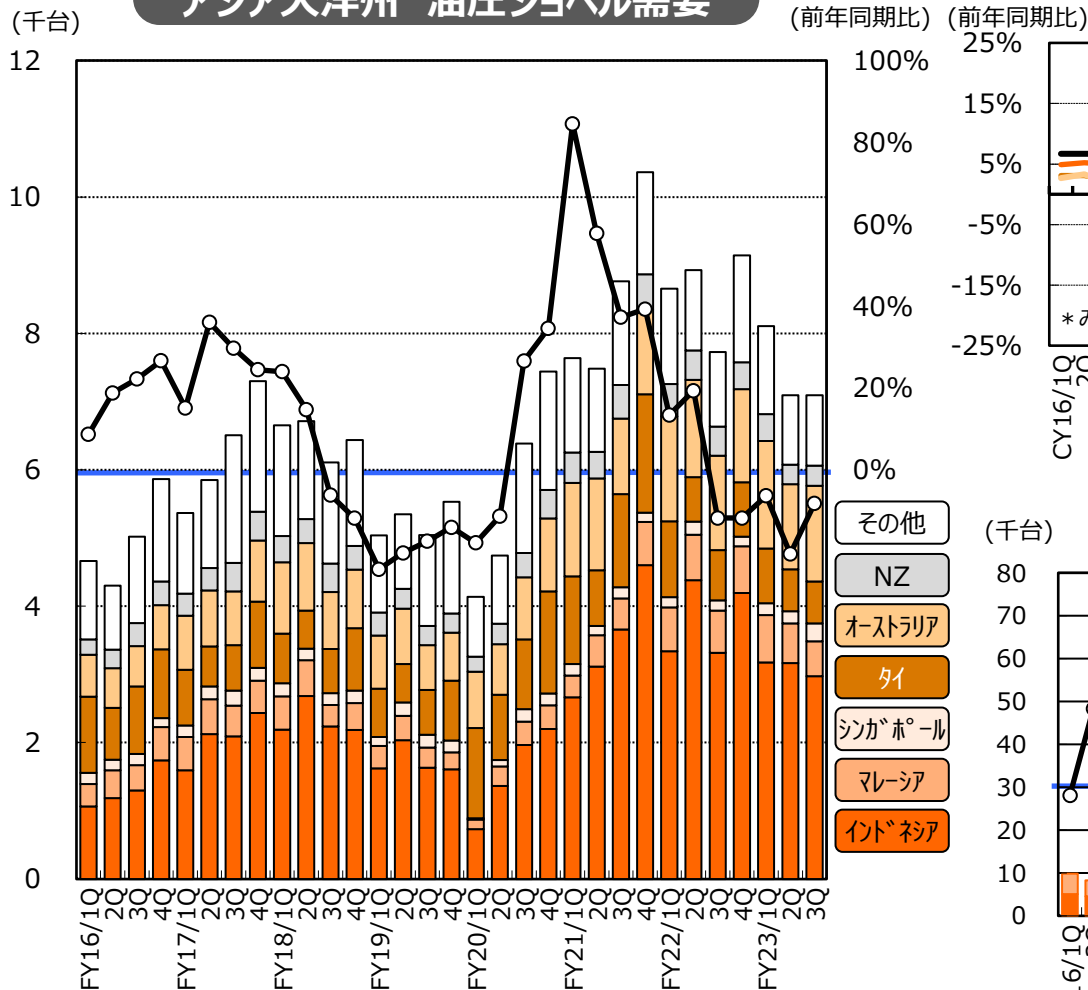


* 需要は日立建機の推定値

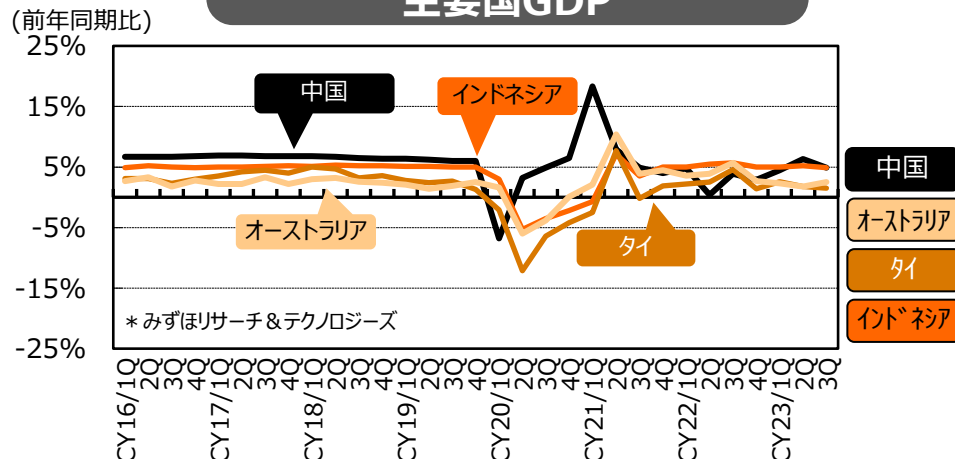
© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2024. All rights reserved.

- アジア大洋州の油圧需要は前年同期比 $\Delta 8\%$
- 中国の油圧需要は前年同期比 $\Delta 43\%$ (国産 $\Delta 40\%$,外資 $\Delta 54\%$)

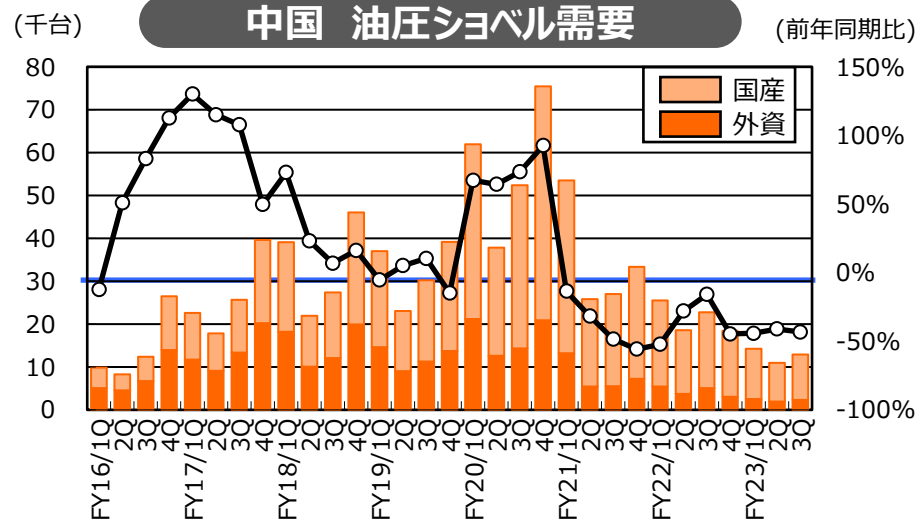
アジア大洋州 油圧ショベル需要



主要国GDP



中国 油圧ショベル需要



* 需要は日立建機の推定値

■ インドの油圧需要は前年同期比+2% ■ アフリカの油圧需要は前年同期比 △19%
 ■ 中東の油圧需要は前年同期比△29%

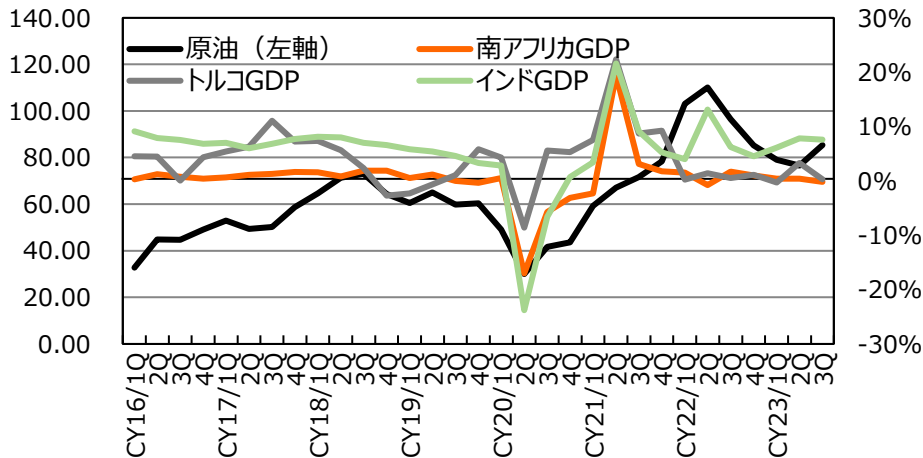
(原油US\$)

原油価格推移・主要国GDP

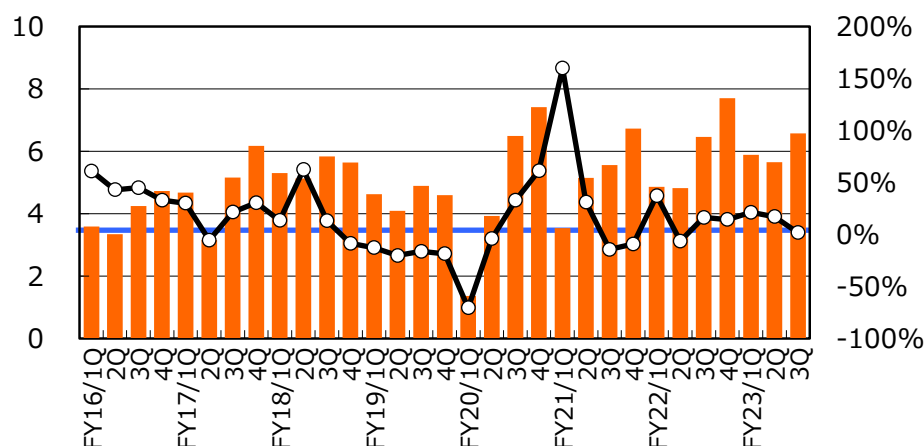
(前年同期比) (千台)

インド 油圧ショベル需要

(前年同期比)



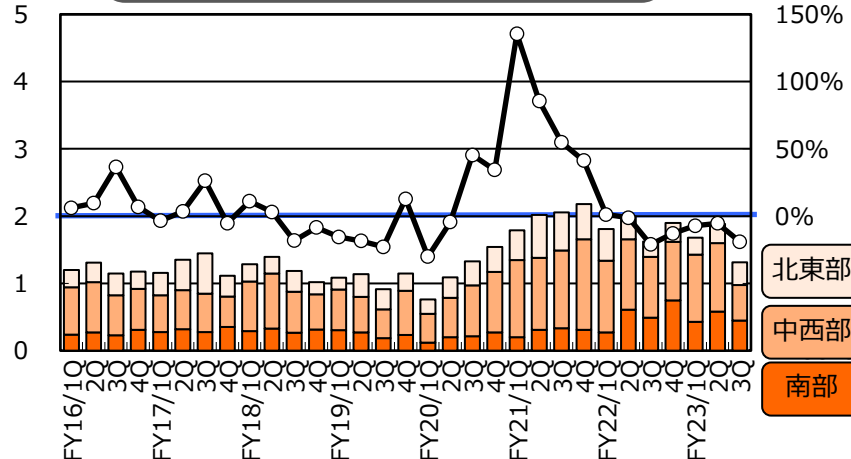
* 原油: 世界銀行ホームページより当社作成 * 南アフリカ・トルコGDP: OECD
 インドGDP: みずほリサーチ&テクノロジーズ



(千台)

アフリカ 油圧ショベル需要

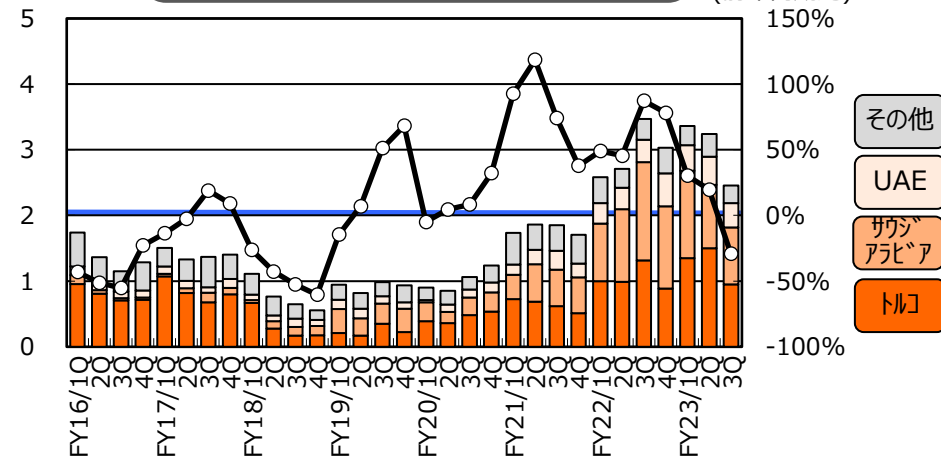
(前年同期比)



(千台)

中東 油圧ショベル需要

(前年同期比)



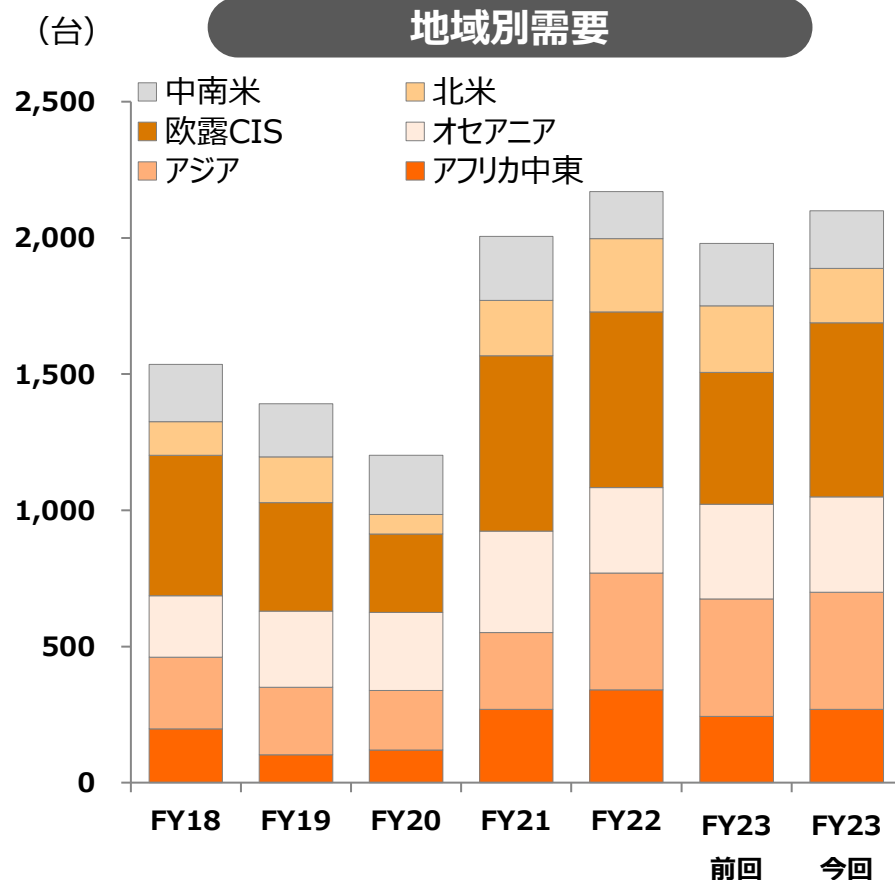
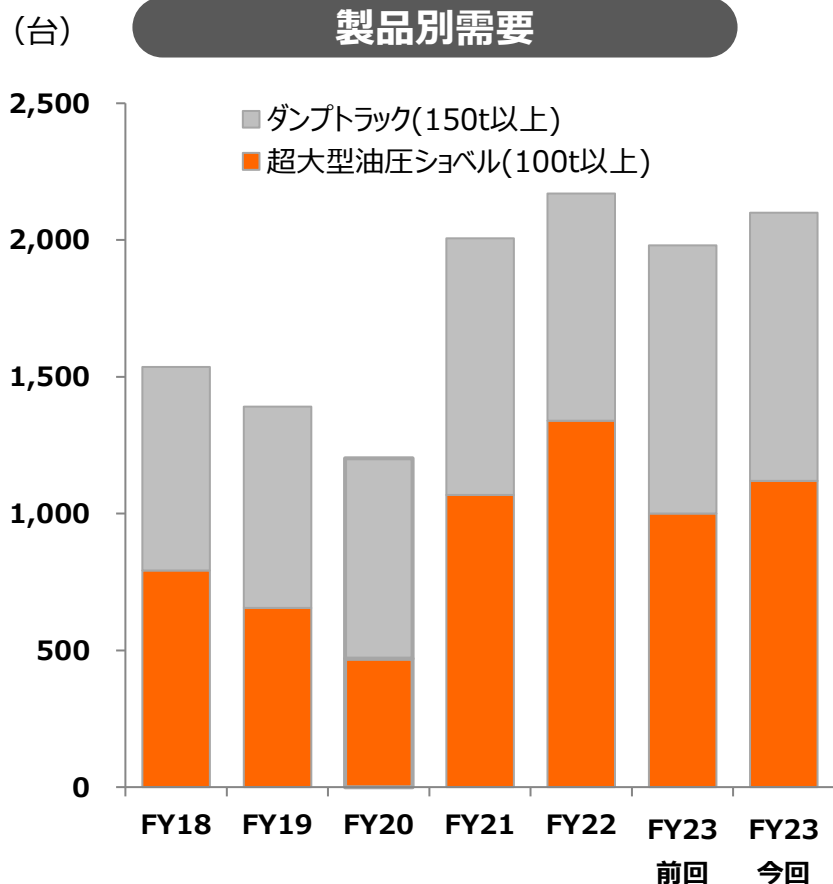
その他
 UAE
 サウジアラビア
 トルコ

* 需要は日立建機の推定値

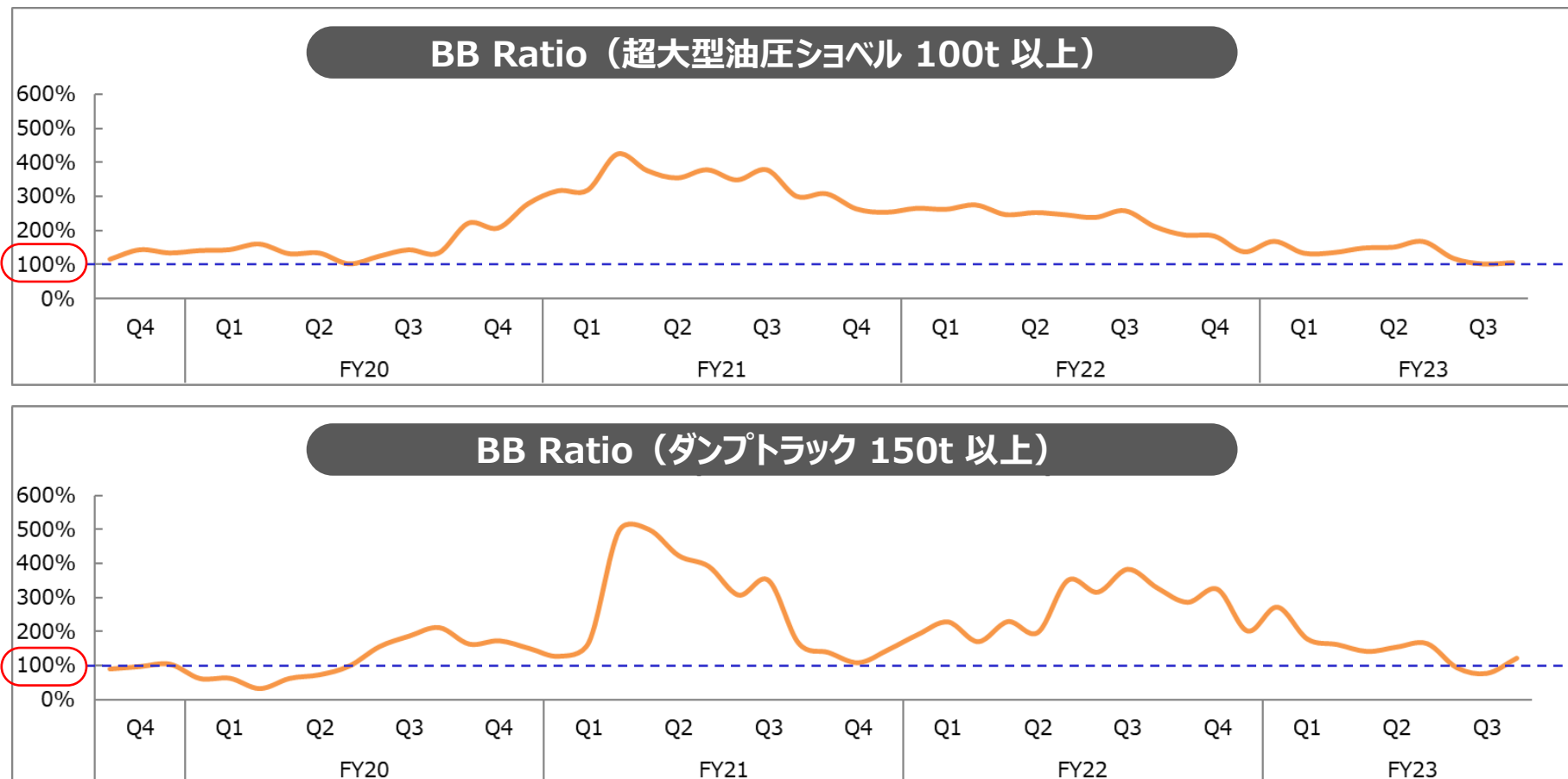
© Hitachi Construction Machinery Co., Ltd. 2024. All rights reserved.

- 超大型油圧ショベルはアジア、CIS、中東地域で100tクラスを中心に増加
- マイニング需要を前年比0～△5%に見直す（前回0～△10%）

超大型油圧ショベル（100t以上）、ダンプトラック（150t以上）



* 需要は日立建機の推定値

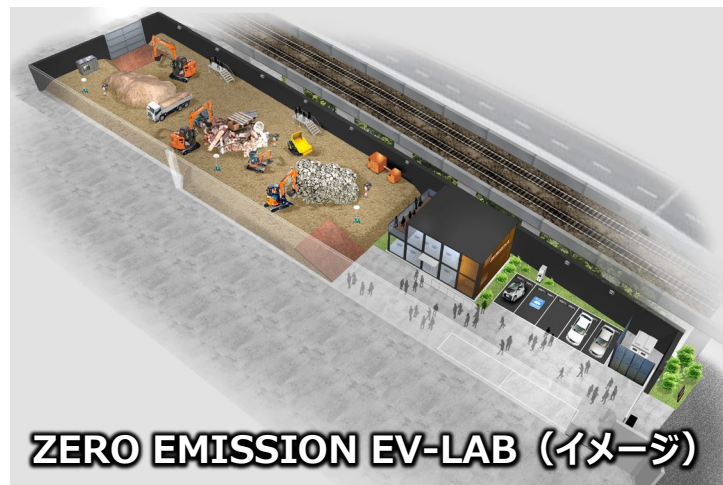


※Book-to-Bill(BB)Ratio = Booking(受注額)/ Billing(出荷額)

当社単独の受注・出荷額の6ヶ月平均

建設現場のゼロ・エミッション化に向けて世界中のパートナーと協創

- ・ 欧州の建設現場で電動建機と可搬式充電設備のデモを実施(2024年2月～)
- ・ 研究拠点「ZERO EMISSION EV-LAB」を千葉県市川市に開設(2024年5月)

**13** 気候変動に
具体的な対策を**9** 産業と技術革新の
基盤をつくらう

東南アジアに油圧ショベルZAXIS-7Gシリーズを市場投入 (2024年2月～)

- ・ 最新の油圧システムを搭載し、大規模インフラ工事や鉱山など高負荷作業を中心にお客さまのニーズに対応
- ・ 多彩なConSiteメニューでサービス品質をさらに向上し、機械の安定稼働に貢献



トピック(2) : マイニング事業

HITACHI

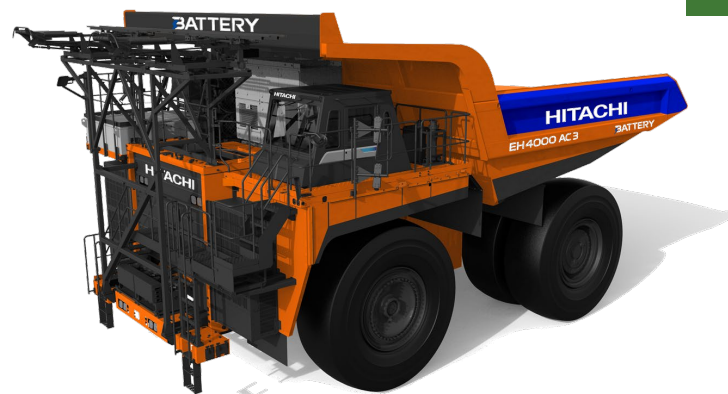
Reliable Solutions

ネット・ゼロ・エミッションの実現をめざし、フル電動ダンプトラックの開発を推進

- 2024年1月に試験機が完成、本年半ばからザンビア鉱山での実証試験を開始



フル電動ダンプトラック 写真：吉成大輔



完成イメージ図

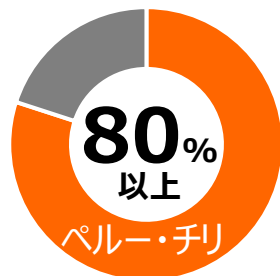
13 気候変動に
具体的な対策を



採掘から選鉱までのタッチポイントで南米市場を開拓

- ペルーの工場を2023年12月取得
2026年からミルライナー生産開始

南米の大型ミルライナー市場



鉱石の粉碎装置 ミル(左)と 内壁に装着するミルライナー(右)

2. 2024年3月期第3四半期 決算説明

執行役常務兼CFO

塩嶋 慶一郎

当第3四半期は、米州を中心に堅調な売上増加に支えられ、売上収益は前年同期比13%増収、調整後営業利益は41%増益、親会社株主に帰属する四半期利益は65%増益。

(単位：億円)

		23年度 第3Q累計		22年度 第3Q累計		前年同期比 増減率	
売上収益		10,204		9,027		13%	
調整後営業利益 *1		(12.0%)	1,228	(9.7%)	872	41%	
営業利益		(11.9%)	1,217	(9.7%)	874	39%	
税引前四半期利益		(10.8%)	1,099	(7.8%)	708	55%	
親会社株主に帰属する 四半期利益		(7.0%)	711	(4.8%)	431	65%	
EBIT *2		(11.6%)	1,180	(8.3%)	748	58%	
為替	アメリカドル		143.2		137.0	6.2	
	ユーロ		155.2		140.5	14.8	
	中国元		19.9		19.9	0.1	
	オーストラリアドル		94.2		93.4	0.8	

*1 [調整後営業利益]は、「売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費」により計算している利益指標です。

*2 [EBIT]は、税引前当期利益から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。(EBIT=Earnings before interests and taxes)

ロシアCIS及び中国は前年同期比減収なるも、米州における独自展開が大きく増加し、為替円安効果も加わり、連結合計では1,176億円の増収。

(単位：億円)

		23年度 第3Q累計		22年度 第3Q累計		前年同期比	
						金額	増減率
日本		1,599	16%	1,560	17%	39	3%
アジア		949	9%	820	9%	129	16%
インド		586	6%	506	6%	80	16%
オセアニア		1,908	19%	1,700	19%	208	12%
欧州		1,273	12%	1,091	12%	183	17%
米州	北米	2,524	25%	1,973	22%	551	28%
	中南米	299	3%	243	3%	56	23%
		2,823	28%	2,216	25%	607	27%
内：独自展開		(1,623)	(16%)	(1,247)	(14%)	(376)	(30%)
ロシアCIS		171	2%	291	3%	△ 120	△41%
中東		215	2%	185	2%	30	16%
アフリカ		465	5%	369	4%	97	26%
中国		213	2%	291	3%	△ 77	△27%
合計		10,204	100%	9,027	100%	1,176	13%
海外売上収益比率		84%		83%			

マイニング売上収益推移

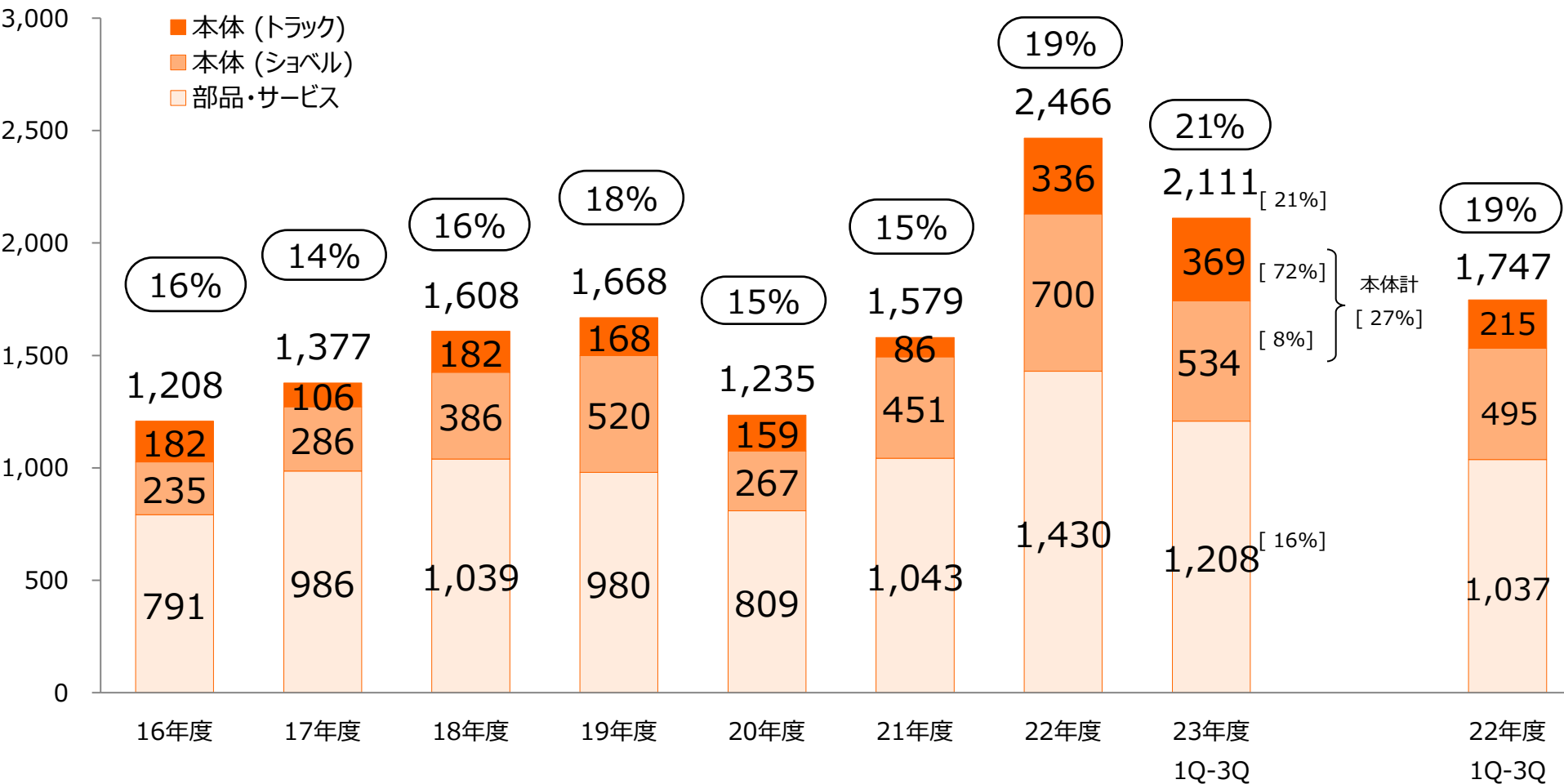
HITACHI

Reliable Solutions

本体及び部品・サービスともに大きく伸長し、前年同期比21%増の2,111億円。

(単位：億円)

(注) (%) = 全社売上収益に占める比率
[%] = 前年同期比 伸び率



バリューチェーン*1 売上収益推移

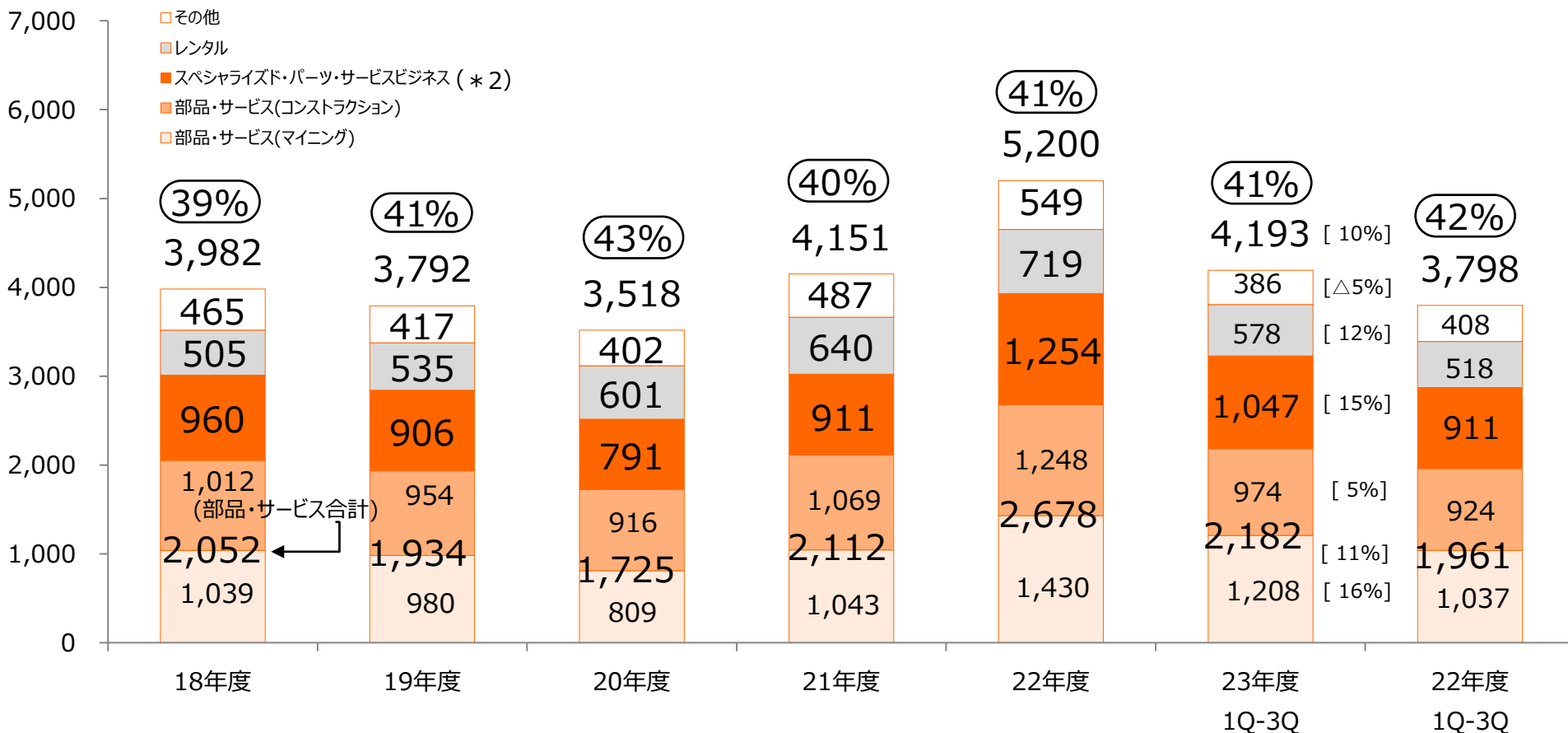
HITACHI

Reliable Solutions

バリューチェーンは部品・サービスに加え、スペシャライズド・パーツ・サービスビジネス及びレンタルが伸長し、前年同期比10%増の4,193億円。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率
[％] = 前年同期比 伸び率

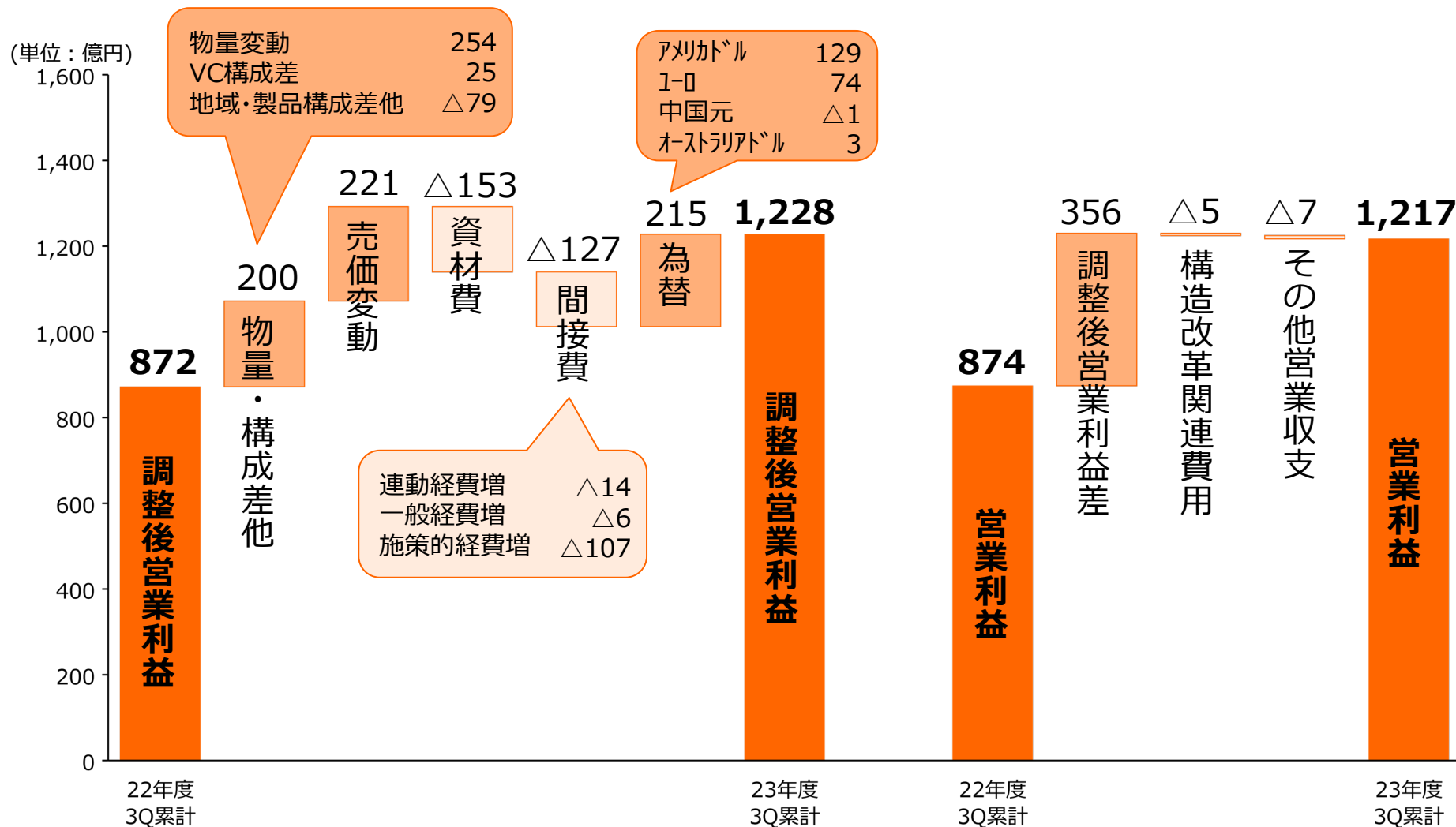


*1 バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、スペシャライズド・パーツ・サービスビジネス、レンタル等の事業合計

*2 スペシャライズド・パーツ・サービスビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

連結損益変動要因

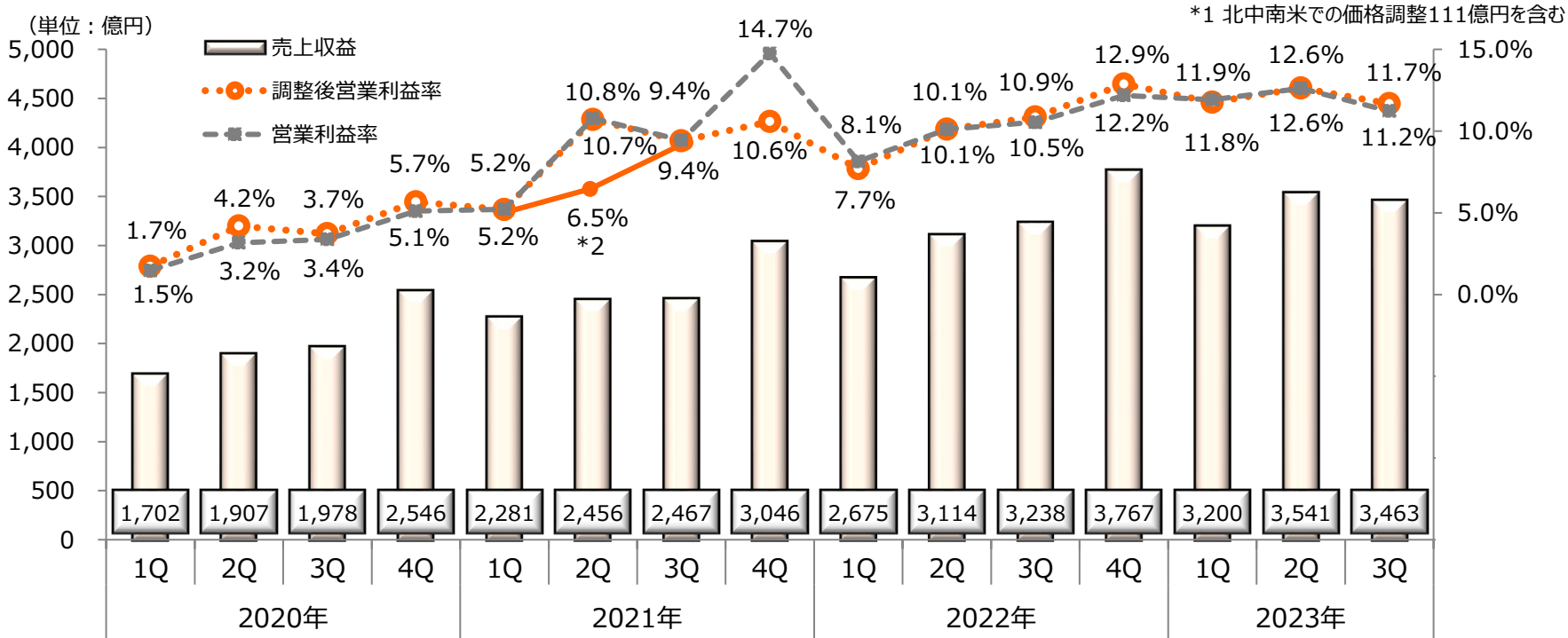
調整後営業利益は、物量増、並びに資材費増を上回る売価改善に加え、為替影響もあり前年同期比で356億円の増益。



要約連結 四半期別売上収益・営業利益（率）

(単位:億円)

	2020年				2021年				2022年				2023年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q*1	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上収益	1,702	1,907	1,978	2,546	2,281	2,456	2,467	3,046	2,675	3,114	3,238	3,767	3,200	3,541	3,463
調整後営業利益	29	80	74	144	118	263	232	322	206	315	351	485	376	448	404
営業利益	25	60	67	130	119	265	233	449	218	315	342	459	382	447	389



*2 北中南米での価格調整111億円を除く

四半期別 為替レート	2020年				2021年				2022年				2023年		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
アメリカドル	107.6	106.2	104.5	105.9	109.5	110.1	113.7	116.2	129.6	138.4	141.6	132.3	137.4	144.6	147.9
ユーロ	118.5	124.1	124.5	127.7	132.0	129.8	130.1	130.4	138.1	139.3	144.3	142.1	149.5	157.3	159.1
中国元	15.2	15.4	15.8	16.4	17.0	17.0	17.8	18.3	19.6	20.2	19.9	19.3	19.6	19.9	20.4
オーストラリアドル	70.7	75.9	76.3	81.8	84.3	80.9	82.9	84.0	92.6	94.5	92.9	90.6	91.8	94.7	96.3

当四半期末は、棚卸資産の増加や、為替円安影響により総資産が前年度末比で1,470億円の増加。

					(単位：億円)				
	(A) 23年3Q	(B) 22年度末	(C) 22年3Q	(A)-(B) 増減		(D) 23年3Q	(E) 22年度末	(F) 22年3Q	(D)-(E) 増減
現金及び現金同等物	1,139	1,120	1,126	20	営業債務及びその他債務合計	2,759	2,745	2,695	13
営業債権	2,590	3,053	2,487	△463	社債及び借入金	5,840	5,075	5,001	765
棚卸資産	5,698	4,508	4,561	1,191	負債の部合計	10,053	9,260	9,069	793
流動資産計	10,120	9,089	8,706	1,031	(親会社所有者帰属持分比率)	(40.7%)	(40.6%)	(39.9%)	(0.2%)
非流動資産合計	7,619	7,181	7,165	438	資本の部合計	7,687	7,010	6,803	677
資産の部合計	17,740	16,270	15,872	1,470	負債・資本の部合計	17,740	16,270	15,872	1,470
非流動を含めた営業債権	3,022	3,446	2,883	△423					
棚卸資産 内訳									
本体	2,276	1,425	1,417	851	有利子負債計	(32.9%) 5,840	(31.2%) 5,075	(31.5%) 5,001	(1.7%) 765
部品	1,687	1,586	1,516	101	現金及び現金同等物	1,139	1,120	1,126	20
その他	1,735	1,496	1,627	239	ネット有利子	(26.5%)	(24.3%)	(24.4%)	(2.2%)
棚卸資産計	5,698	4,508	4,561	1,191	負債	4,701	3,955	3,874	746
手持日数（分母は売上収益）				(単位：日)					
営業債権（非流動含む）	79	98	87	△19	ネットD/ELレシオ	0.65	0.60	0.61	0.05
棚卸資産	149	129	138	20					
営業債務	44	47	50	△2					
正味運転資金	180	176	170	4					

営業キャッシュ・フローは286億円のポジティブとなるが、フリーキャッシュ・フローは△163億円のネガティブ。

(単位：億円)

	23年度 第3Q累計		22年度 第3Q累計		前年同期比 増減額	
四半期利益		790		457		333
減価償却費	1,299	509	924	468	375	41
売掛金及び受取手形の増減		536		343		194
棚卸資産の増減	△ 415	△ 974	△ 294	△ 818	△ 122	△ 156
買掛金及び支払手形の増減		23		181		△ 159
保証債務の履行による支出		0		△ 535		535
その他		△ 597		△ 555		△ 42
営業活動に関するキャッシュ・フロー		286		△ 460		746
営業キャッシュ・フロー・マージン率		2.8%		△ 5.1%		7.9%
投資活動に関するキャッシュ・フロー		△ 449		△ 294		△ 155
フリー・キャッシュ・フロー		△ 163		△ 753		591
財務活動に関するキャッシュ・フロー		159		947		△ 788

要約連結損益計算書(予想)

前回10月に公表した業績見通しを修正し、売上収益は前年比9%の増収、調整後営業利益は26%の増益、親会社株主利益に帰属する当期利益は25%の増益を見込む。

注. < >内は23年10月公表値 (単位:億円)

	23年度 予想		22年度 実績	前年比	
				金額	増減率
売上収益	<13,600>	14,000	12,795	1,205	9%
調整後営業利益	<11.8%> <1,600>	(12.2%) 1,710	(10.6%) 1,357	(1.6%) 353	26%
営業利益	<11.5%> <1,560>	(11.2%) 1,570	(10.4%) 1,333	(0.8%) 237	18%
税引前当期利益	<11.1%> <1,510>	(10.1%) 1,420	(8.8%) 1,127	(1.3%) 293	26%
親会社株主に帰属する当期利益	<7.2%> <980>	(6.3%) 880	(5.5%) 702	(0.8%) 178	25%
EBIT	<1,612>	1,527	1,190	337	

通貨	1Q-3Q	4Q	年度	22年度	前年比	為替感応度は 参考資料1を ご参照ください
	実績	予想	予想	実績		
アメリカドル	143.2	140.0	142.2	135.4	6.8	
ユーロ	155.2	150.0	153.5	141.0	12.5	
中国元	19.9	19.5	19.7	19.7	0.0	
オーストラリアドル	94.2	95.0	94.4	92.7	1.7	
1株当たり配当金 *1	未定			110円	-	

*1 [1株当たり配当金]は、連結業績に連動した剰余金の配当を原則として、中間と期末の2回に分けて同一年度に2度実施する方針であり、連結配当性向30%~40%を目安に安定的かつ継続的に実施することを基本として株主利益の最大化を図ります。

要約地域別売上収益(予想)

HITACHI

Reliable Solutions

ロシアCIS、中国は前年比減収なるも、米州における独自展開が大きく増加し、為替円安効果も加わり、連結合計では1,205億円の増収。

(単位：億円)

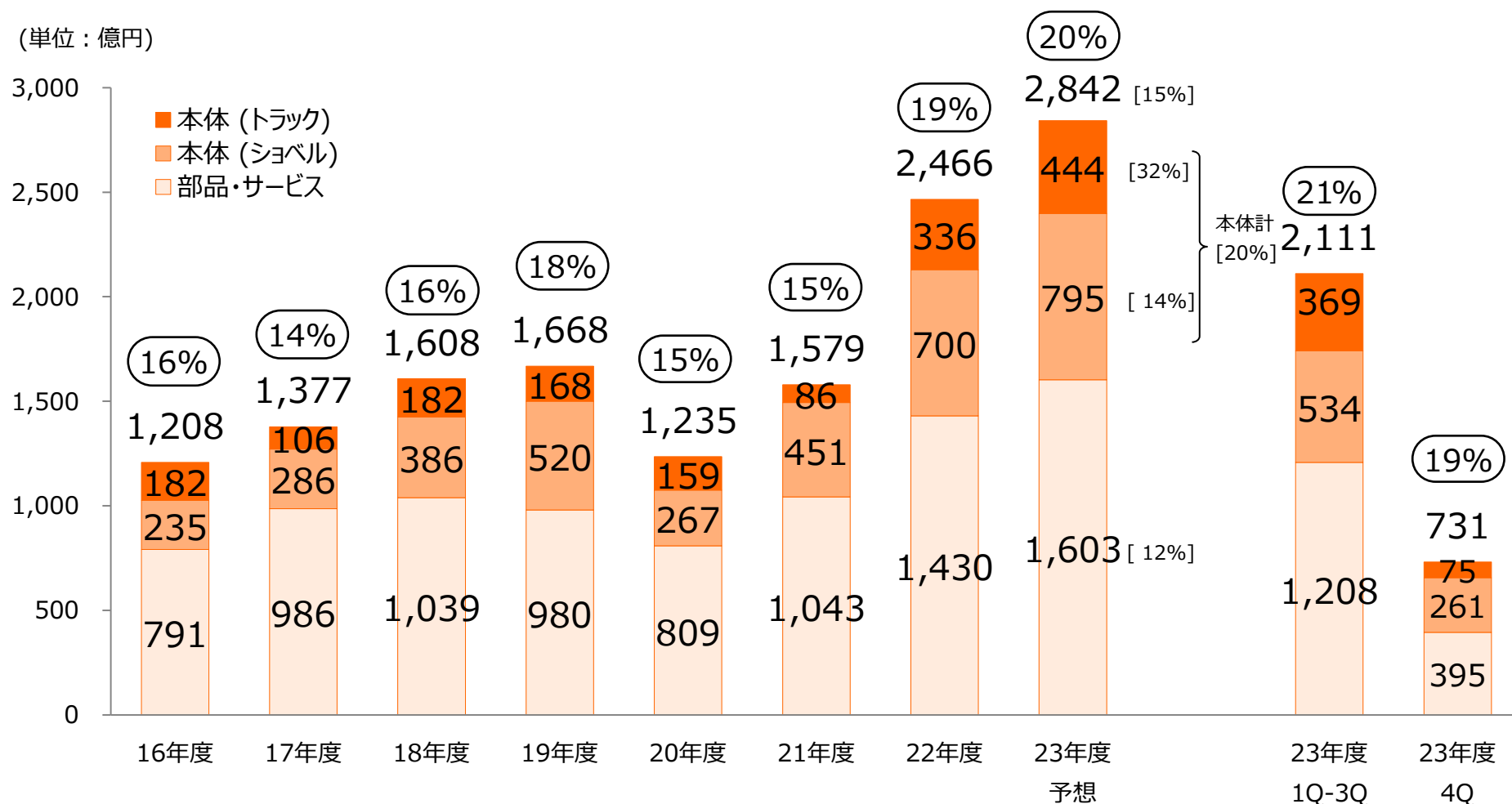
		23年度 予想		22年度 実績		前年比	
						金額	増減率
日本		2,262	16%	2,240	18%	22	1%
アジア		1,252	9%	1,227	10%	26	2%
インド		743	5%	731	6%	12	2%
オセアニア		2,517	18%	2,254	18%	263	12%
欧州		1,769	13%	1,649	13%	120	7%
米州	北米	3,454	25%	2,741	21%	712	26%
	中南米	384	3%	383	3%	1	0%
		3,838	27%	3,125	24%	713	23%
内:独自展開		(2,387)	(17%)	(1,820)	(14%)	(567)	(31%)
ロシアCIS		295	2%	374	3%	△79	△21%
中東		334	2%	250	2%	84	34%
アフリカ		660	5%	547	4%	113	21%
中国		330	2%	400	3%	△70	△18%
合計		14,000	100%	12,795	100%	1,205	9%
海外売上収益比率		84%		82%			

マイニング売上収益推移(予想)

今年度のマイニング売上収益は、前年比15%増収の2,842億円を見込む。

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率
[％] = 前年比 伸び率

(単位：億円)



バリューチェーン*1 売上収益推移(予想)

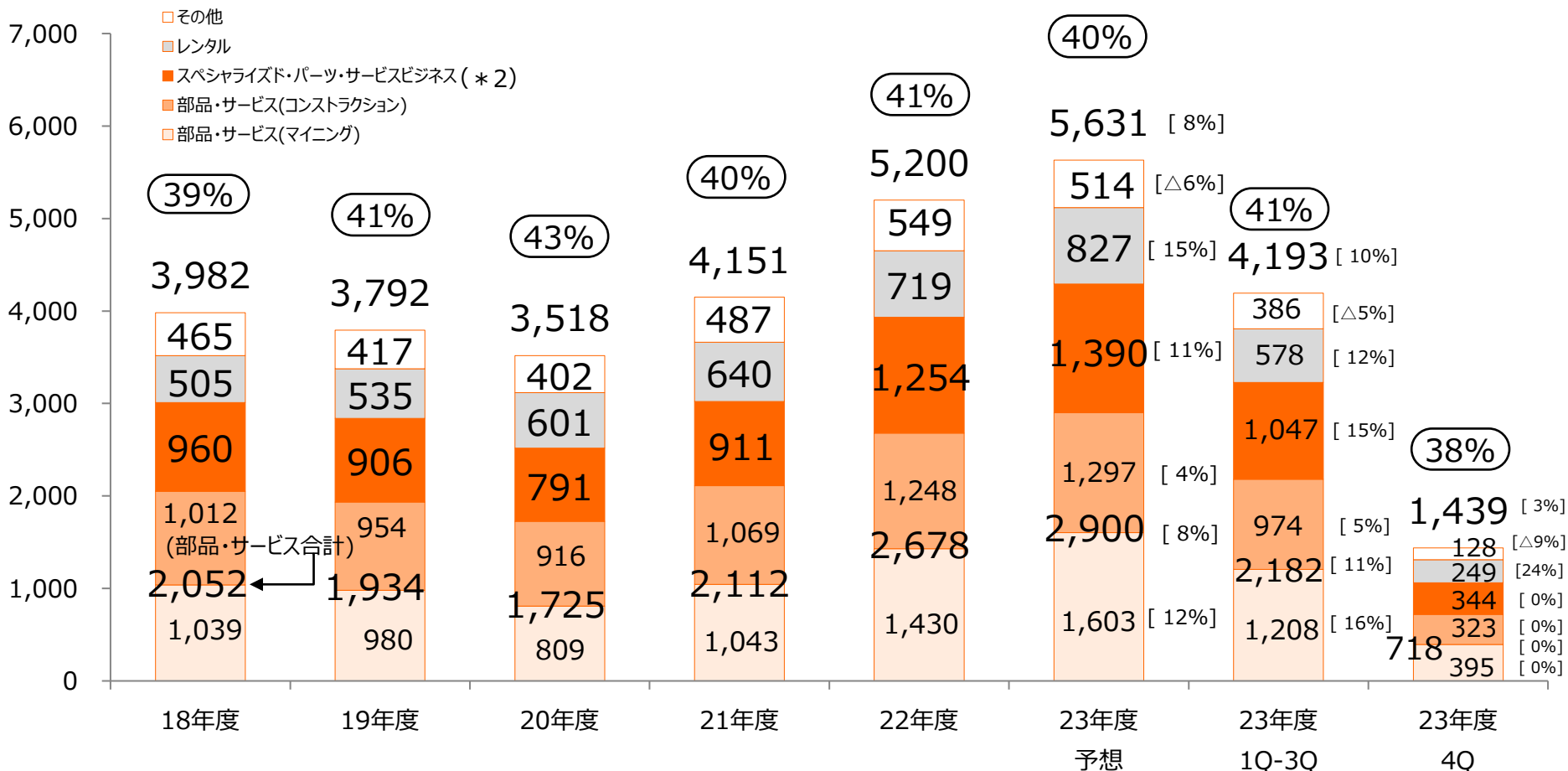
HITACHI

Reliable Solutions

今年度のバリューチェーン売上収益は、前年比8%増収の5,631億円を見込む。

(単位：億円)

(注) (％) = 全社売上収益に占める比率
[％] = 前年比 伸び率

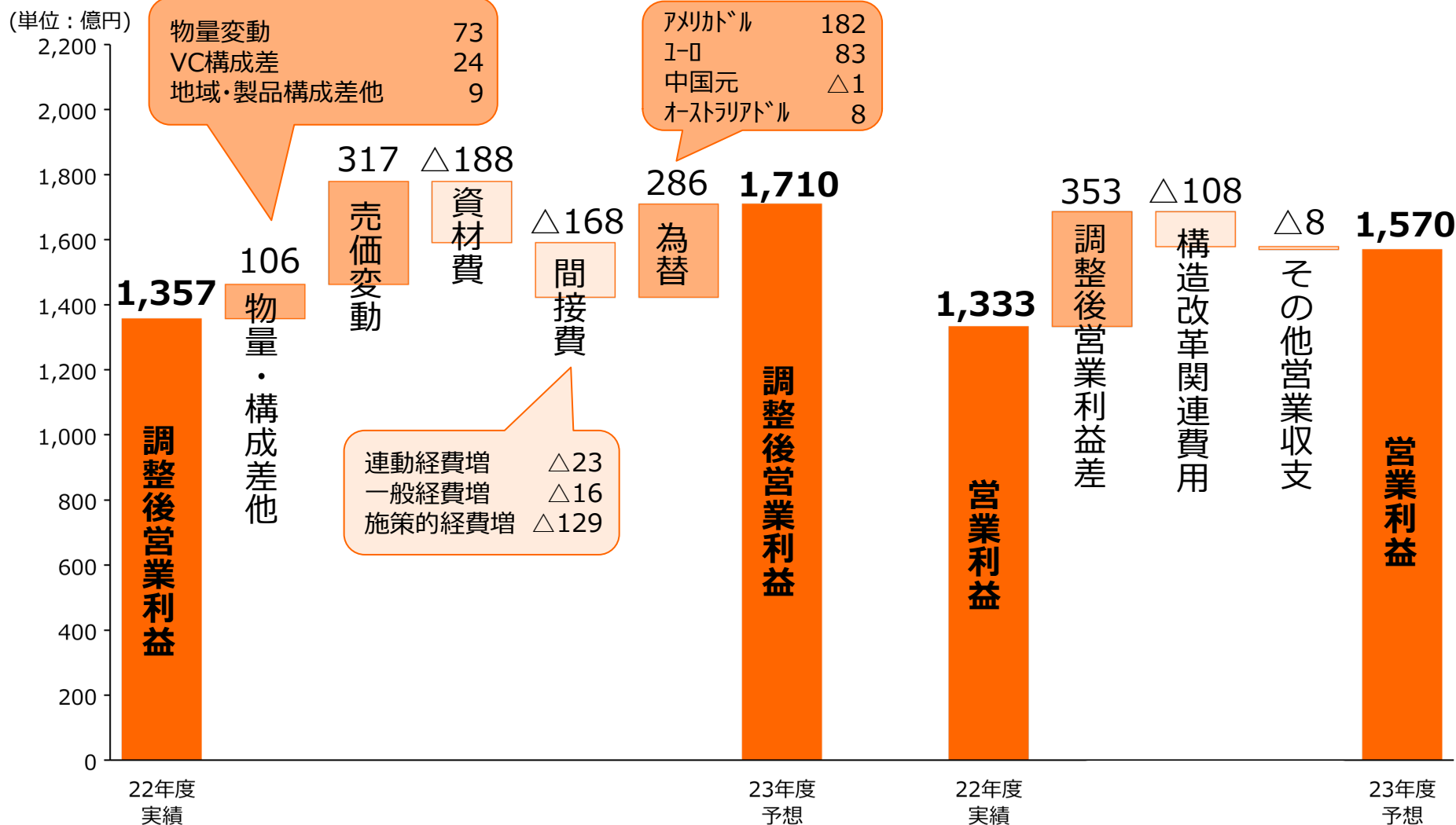


* 1 バリューチェーン：新車販売以外の事業である部品・サービス、スペシャライズド・パーツ・サービスビジネス、レンタル等の事業合計

* 2 スペシャライズド・パーツ・サービスビジネス：建設機械ビジネスセグメントに含まれないマイニング設備及び機械のアフターセールスにおける部品開発、製造、販売及びサービスソリューションの提供

連結損益変動要因(予想)

今年度の調整後営業利益は、物量増、並びに資材費増を上回る売価改善に加え、為替影響もあり前年比353億円の増益を見込む。



第 4 四半期の予想為替レートは、前回からドル、ユーロともに5円の円安に修正。

為替レート及び為替感応度 (単位:億円)

通貨	為替レート				感応度(4Q)		
	23年度			22年度 実績	基 準	売上収益	調整後 営業利益
	1Q-3Q 実績	4Q 予想	年度 予想				
アメリカドル	143.2	140.0	142.2	135.4	1円円安になった場合	10	7
ユーロ	155.2	150.0	153.5	141.0	1円円安になった場合	3	1
中国元	19.9	19.5	19.7	19.7	0.1円円安になった場合	1	0
オーストラリアドル	94.2	95.0	94.4	92.7	1円円安になった場合	6	1

参考資料 2 : マイニング売上収益内訳

HITACHI

Reliable Solutions

(金額：億円)

		23年度予想			22年度実績			差額		
		1-3Q累	4Q	年度	1-3Q累	4Q	年度	1-3Q累	4Q	年度
米州	ショベル	233	122	355	209	118	327	24	4	28
	トラック	75	20	95	32	9	41	43	11	54
	計	308	142	450	242	127	368	67	15	82
欧阿中東	ショベル	221	134	354	269	88	357	△ 48	45	△ 3
	トラック	230	89	320	171	99	270	59	△ 10	50
	計	451	223	674	440	187	627	11	36	47
アジア・大洋州	ショベル	901	273	1,174	723	255	978	179	18	196
	トラック	429	74	503	327	141	468	102	△ 67	35
	計	1,331	347	1,677	1,050	396	1,446	281	△ 50	231
中国	ショベル	11	13	24	6	6	13	5	6	11
	トラック	0	0	0	1	0	1	△ 1	△ 0	△ 1
	計	11	13	24	7	6	14	4	6	10
日本	ショベル	6	7	13	8	2	10	△ 2	4	2
	トラック	4	0	4	0	0	0	4	△ 0	3
	計	10	7	16	8	2	11	2	4	6
合計	ショベル	1,372	548	1,920	1,215	470	1,685	157	78	235
	トラック	738	183	922	532	249	781	207	△ 66	141
	計	2,111	731	2,842	1,747	719	2,466	364	12	376

参考資料 3 : セグメント情報

下記スペシャライズド・パーツ・サービスビジネスの調整後営業利益は、P P A (資産再評価)償却費として23年度第3四半期累計実績には8億円、23年度予想にも11億円をそれぞれ含む。

(単位：億円)

23年度 第3Q累計	報告セグメント		調整額 *2	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	スペシャライズド・パーツ・ サービスビジネス*1		
売上収益	9,157	1,090	△ 43	10,204
調整後営業利益	12.2% 1,117	10.2% 111	-	12.0% 1,228

(単位：億円)

23年度 予想	報告セグメント		調整額 *2	連結財務諸表 計上額
	建設機械 ビジネス	スペシャライズド・パーツ・ サービスビジネス*1		
売上収益	12,609	1,434	△ 43	14,000
調整後営業利益	12.4% 1,560	10.4% 150	-	12.2% 1,710

*1 2023年度より、「ソリューションビジネス」としていたセグメント名称を「スペシャライズド・パーツ・サービスビジネス」に変更しました。
セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

*2 [調整額]は、セグメント間取引消去額、及び事業セグメントに帰属しない全社に係る金額です。

日立建機グループでは、持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標のうち、10項目の重点目標を設定しています。
当資料内のトピックスはこの区分に該当するアイコンを表記し、紹介しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

【商標注記】

「AERIAL ANGLE」「ConSite」「Solution Linkage」「ZCORE」は、日立建機株式会社の登録商標です。

2024年1月26日

 日立建機株式会社